

## 後期 学校評価の結果から

後期学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。主な結果や今後の課題等について検討しましたので、保護者・地域の皆様にお知らせします。

注) 赤色の下線=目標を達成できていない

赤字=前期評価より5%以上下がった

青字=前期評価より5%以上上がった

赤字+黄色マーカー=前期評価より10%以上下がった

青字+黄色マーカー=前期評価より10%以上上がった

### I 確かな学力(学力向上) \*最重要課題

評価項目・達成目標	肯定的評価の割合/結果
① <u>家庭学習の習慣化</u> * 学年目標時間以上	生徒: <u>60%</u> (1年: <u>30%</u> 2年: <u>63%</u> 3年: <u>83%</u> ) 保護者: <u>44%</u> (1年: <u>16%</u> 2年: <u>50%</u> 3年: <u>62%</u> ) *学年目標時間 1年=70分、2年=80分、3年=90分

4月に実施した全国標準学力検査(NRT)の結果を受け、生徒が基礎・基本の確実な定着を図ることができるよう、また、昨年度から完全実施となった新しい学習指導要領の趣旨が実現できるよう、学習用iPadを取り入れながら授業改善に取り組んでおります。特に、学習課題の明確化、生徒が主体的に学習に取り組むことができる発問・課題、まとめ・振り返りの確実な位置付けなど、生徒の実態に合わせて指導方法を工夫しているところです。家庭学習についても、課題の質・量に配慮しながら宿題を定期的に出題するなどの対策を講じておりますが、受験勉強に励んでいる3年生以外は、なかなか家庭学習の習慣が身に付いてきている様子が見られないのが、大きな課題です。

2学期、3学期には、全国と比較できる学力調査がないため、後期の学校評価において生徒の学力実態を示す具体的な数値はありません。新年度初めに実施するNRTで、今年度の授業改善の取組の成果や課題を客観的に把握し、新年度の学習指導及び生徒の学力向上につなげていきます。また、令和5年度からは、学校体制で以下の方策を実施することにしました。

#### 【令和5年度 学力向上・家庭学習習慣の定着への方策】 (\*1月19日付けの文書と同じ内容)

・細やかな学習評価により、「知識・技能」(基礎・基本)の確実な定着を図ります。

\*中間テスト、期末テストを廃止し、単元終了ごとに単元テストを実施します。

・パフォーマンス課題(実技、作文、レポート、発表等)により、「思考・判断・表現力」の向上を図ります。

・宿題や単元テストにより、家庭学習の習慣化を図ります。

\*各教科の単元テストが同時期にならないように調整し、事前に単元テストの実施計画表を配付します。ほぼ毎週、単元テストがありますので、平日は毎日の宿題を、週末は単元テストの内容を中心に学習を継続していくことになります。

(裏面に続く)

### ♣ 3月の予定

1日(水) 同窓会入会式(3年生)

6日(月) 卒業証書授与式

7日(火) 公立高校一般入学試験日(3年生)

8日(水) 元気アップデー

15日(水) ~17日(金)

京都・奈良修学旅行(2年生)

24日(金) 3学期終業式

27日(月) 離任式

## II 豊かな心

評価項目・達成目標	肯定的評価の割合／結果
① 学校生活等 (1) 「学校生活の充実」 (2) 「明るく元気な挨拶」 (3) 「思いやりある言動」 (4) 「役割等への責任感」 や「学級への所属感」 *肯定的評価：90%以上	(1) 生徒：97% (1年：100% 2年：95% 3年：96%) 保護者：94% (1年：95% 2年：94% 3年：95%) (2) 生徒：92% (1年：96% 2年：90% 3年：92%) 保護者：92% (1年：90% 2年：100% 3年：81%) (3) 生徒：93% (1年：96% 2年：90% 3年：96%) 保護者：93% (1年：74% 2年：100% 3年：100%) (4) 生徒：97% (1年：100% 2年：92% 3年：100%) 保護者：93% (1年：95% 2年：94%、3年：90%)
② 目標達成に向けた取組 (1) 学校行事への取組 (2) 学級目標への取組 (3) 行事や体験学習での成長 *肯定的評価：80%以上	(1) 生徒：99% (1年：100% 2年：97% 3年：100%) (2) 生徒：95% (1年：96% 2年：95% 3年：96%) (3) 保護者：99% (1年：100% 2年：97%、3年：100%)

後期の学校評価のアンケートにおいても、「豊かな心」に係わる項目では、生徒・保護者ともに概ね目標を上回っており、学校全体が穏やかで落ち着いており、とてもよい雰囲気です。多くの来校者から「生徒さんの挨拶が素晴らしい」とお褒めの言葉をいただきました。また、2学期は学校・学級行事や生徒会活動など、生徒が中心となった活動場面が多くありましたが、それぞれが自分の役割を果たし、学校や生徒会に貢献することができていたと思います。

## III 健やかなからだ(健康・体力)

評価項目・達成目標	肯定的評価の割合／結果
① <u>アウトメディアへの取組</u> *肯定的評価：80%以上	【メディア視聴時間を意識した生活】 ・生徒：74% (1年：70% 2年：76% 3年：75%) 【きちんとした生活習慣による生活】 ・保護者：78% (1年：68% 2年：84%、3年：76%)

家庭学習時間とテレビやゲーム、インターネット等のメディア視聴時間は相関があります。元気アップデーでは、メディアの視聴時間を2時間に制限することを意識して生活できているようですが、欲望に負けてしまい、メディア視聴時間が長くなっている生徒も多くいます。心身の成長期である中学校時代をどのように過ごすか、ということはとても重要です。今後も規則正しい生活を心がけて健やかなからだを育成できるよう、また地域と連携して取り組めるよう、指導方法や取組を工夫してまいります。ご家庭でもご指導よろしく申し上げます。

体力については、後期の学校評価では提示できる体力テストの数値等はありません。今後も保健体育授業での運動や部活動での意図的なトレーニングにより、体力向上を図っていきます。

## IV 地域と歩む(地域貢献)

評価項目・達成目標	肯定的評価の割合／結果
① 地域行事や小学生との交流活動 *肯定的評価：90%以上	生徒：91% (1年：96% 2年：90% 3年：88%)
② 自己有用感 *肯定的評価：90%以上	生徒：98% (1年：100% 2年：95% 3年：100%)

いまだに感染症禍であり、地域行事や小学生との交流活動はまだまだ限定的ですが、少しずつ地域とつながれる活動も実施することができ、達成感や成就感をもった生徒が多かったようです。今後も小学校と連携しながら、学校運営協議会等を通じて地域からの「声(要望)」を聞き取り、生徒が主体的に取り組める活動を幅広く模索していきます。